

令和6年度（2024年度）

# 『地域とともにある学校づくりに関するアンケート』結果



# 令和5年度 地域とともにある学校づくりに関するアンケート結果について

1 実施期間 令和6年12月24日～令和7年1月9日

2 方法 Google Forms への回答

3 評価 5段階

(5よくあてはまる 4ややあてはまる 3あてはまる 2あまりあてはまらない 1全くあてはまらない 0わからない)

4 対象者(回答数)

保護者(80)、本校教職員(56)、学校運営協議会委員(11)

## 5 概要及び考察

### ア 家庭（保護者）

15項目において評価4及び5の回答が60%以上であった。「学校教育目標及び学部目標を明確にして教育を行っている」「児童生徒の将来や進路に対して適切な情報提供や相談を実施している」「児童生徒の学習活動や取組を学校だよりやHP等で保護者や地域住民に発信している」の項目については、評価4及び5の回答が70%を超えており、学校より様々な方法で情報発信し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を実践していることについて、保護者に理解が得られていることが分かる。

一方で、「地域人材を活用した授業を行っている」「児童生徒の活動には、地域に貢献できているものがある」「地域行事に参加している」の項目では、本年度も評価4及び5の回答が50%台と低く、「居住地域の子供たちや地域住民と関わりがある」の項目に至っては、25%程度となっている。小・中学部で居住地校交流は実施しているものの、保護者のニーズに応えられていないという結果となった。

また、「天草支援学校のPTA活動に関わっている」という項目は、40%弱の保護者が評価0・1・2に回答しており、今後のPTA活動の取組や方向性を考えていく必要がある。

## イ 学校（教職員）

19項目において評価4及び5の回答が60%以上であった。家庭（保護者）同様、「情報発信」についての評価が高かった。また「児童生徒の個性や能力にあった教育活動を計画・実施・評価している」「特別支援教育の専門性の向上に努め、教育活動を行っている」「教職員は親しみやすく、人権を尊重する姿勢で支援にあたっている」など、教職員としての資質に関する項目を評価4及び5と回答する教職員が多く、高い意識で児童生徒と向き合っている。

一方、「地域人材を活用した授業を行っている」「本校児童生徒は、居住地域の子どもたちや地域住民との関わりがある」の項目に評価1・2・3の回答する職員が多く、その背景には「保護者や地域の人々が学校に関わると、学校の教育が充実すると思う」「保護者や地域の人々が、様々な形で学校に関わることにより、地域の活性化が図られると思う」の項目の高評価に表れている。

## ウ 地域（学校運営協議会委員）

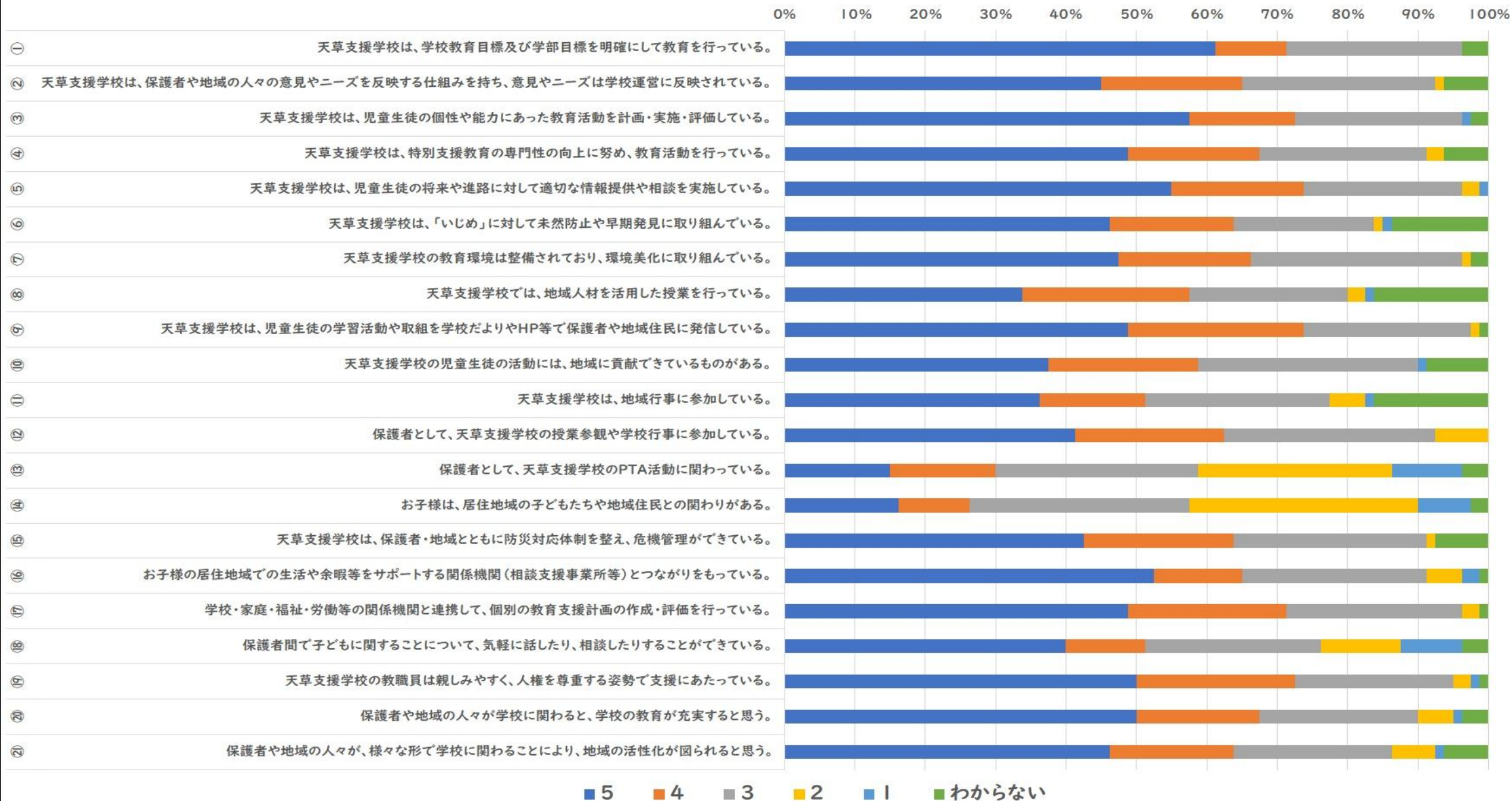
ほとんどの項目が評価3・4・5の回答であったが、「居住地域の子どもたちや地域住民との関わりがある」「保護者・地域とともに防災対応体制を整え、危機管理ができている」「居住地域での生活や余暇等をサポートする関係機関（相談支援専門員）とつながりをもっている」の項目においては評価ポイントが低く、さらなる「地域とのつながり」の期待の表れと考えている。

## 6 まとめ

本年度は「つなぐ・つながる」のテーマのもと、一人一人の子供の育ちを大切に、各学部が工夫・連携しながら様々な教育活動に取り組んできた。また、高等部移転から3年目となり、天草拓心高校と良好な関係を築きながら、「天支フェスタ」をはじめとする各種教育活動をさらに充実させてきた。地域の方々により一層本校の教育活動の魅力について発信するとともに、本校児童生徒と地域のつながりについて様々な視点から再考し、地域とともにある学校づくりを体現していきたい。今後も、本校児童生徒の教育活動を広く発信し、学校と地域におけるWin-Winの関係性をめざしていく。

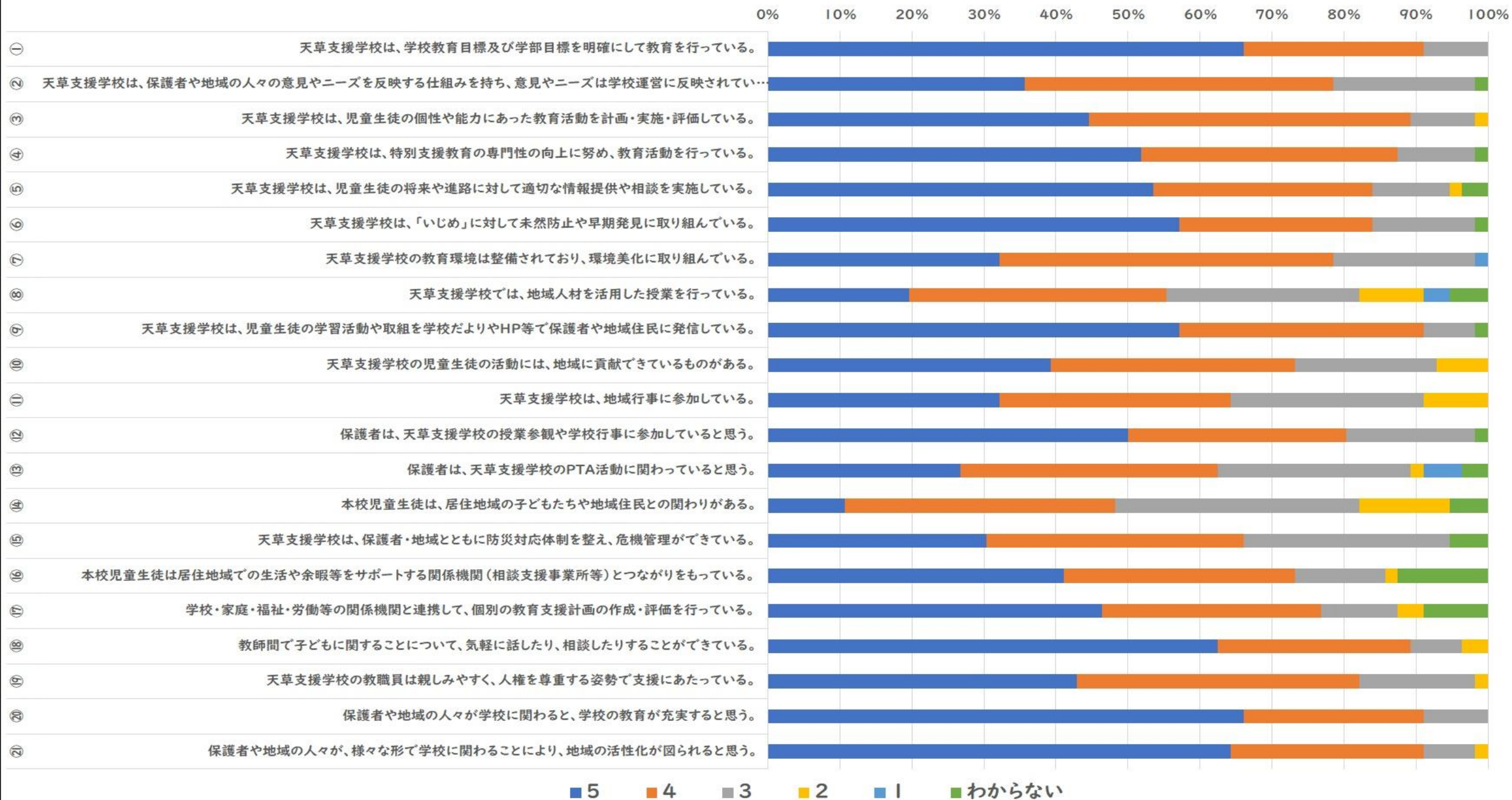


# 令和6年度天草支援学校『地域とともにある学校づくり』に関するアンケート結果【家庭】





# 令和6年度天草支援学校『地域とともにある学校づくり』に関するアンケート結果【教職員】



# 令和6年度天草支援学校『地域とともにある学校づくり』に関するアンケート結果【学校運営協議会委員】

